

# 議会だより入善

GIKAI

DAYORI

NYUZEN



## 3月定例会

平成12年度一般会計予算	2
常任委員会レポート	4
平成11年度一般会計補正予算	6
一般質問～町政を問う(13議員)	8
町発注工事入札結果表(1～3月分)	22
特集 これだけは知っておきたい	
介護保険	23
各種団体・傍聴席からひとこと	24

町民のみなさんへ

議会を傍聴して  
見ませんか  
つぎの定例会は  
6月です

# No. 113

2000年4月27日  
(平成12年)

発行/入善町議会

編集

入善町議会広報編集特別委員会  
富山県下新川郡入善町入善 3255  
☎ 0765(72)1100 〆 0765(72)4711

# 橋渡し 重点事業

## 平成12年度一般会計予算114億1350万円

# 介護保険スタート

3月定例会は、3月7日から23日までの17日間の会期で開かれた。本年度は介護保険制度のスタートの年であり、昨年から着工の健康交流プラザ、デイサービスの開館、特別養護老人ホームの建設着工など、また21世紀を展望して、情報化推進事業、海洋深層水事業、公営住宅建設事業の本格的着工など、一般会計で114億円、外に7つの特別会計総額では、196億7000万円の大型予算となった。厳しい財政状況の中で、多額の基金繰入と町債発行等、慎重に審議した結果、全議案を原案どおり可決した。

### 歳入の特徴

長引く不況と景気の低迷で、町税が伸びず、地方譲与税や地方交付税の増収を見積って、財源の確保に努めた。歳出に見合う歳入の確保が困難なことから町債の発行や、大幅な基金の繰入が余儀なくされたものとなっている。

町税は対前年比1・7%の減で30億9395万円であり、引き続き厳しい対応を迫られている。基金の繰入は、財政調整基金4億円、減債基金4億4000万円ほか、下水道基金・漁業振興基金など13億6997万円を取り崩した。

町債は、減税補填を含め12億5480万円を計上している。

### 歳出の概要

限られた財源の中で多様な化する住民ニーズに、きめ細かく応えるため、行政経費の徹底した節減、合理化を図り、特に交際費、補助金の見直し、虚礼廃止による報償費や需用費等、経常経費についても見直しを図り、最小の経費で最大の行政効果が得られるよう努めた。

以下、各事業について町民総合計画で策定している4つの施策について説明する。

#### 「笑顔があふれる健康のまちづくり」

介護保険事業費

(2億672万円)

特別養護老人ホーム建設費

業費 (3億2304万円)

在宅介護支援センター運営

事業費 (1190万円)

在宅福祉サービス支援事業

費 (2086万円)

健康交流プラザ管理運営費

(6069万円)

平成9年度から総事業費

22億1321万円を投じて

建設してきたが、本年7月

末に完成、町民の健康増進

ふれあい交流、情報推進な

どの中核施設として、8月

オープンの子定である。

デイサービスセンター運営

費 (2127万円)

町営バス運行事業費

(1193万円)

保育所運営費

(8億4572万円)

錬成館建設事業費

(1億9049万円)

2000年国体事業費

(5200万円)

本年度から施行の介護保険制度の円滑な運用により高齢者の福祉対策をきめ細かく推進し、心豊かに暮らせる健康長寿のまちづくりを目指す。また今年度新たに、新川地域介護保険組合も一部出資による入善町2番目の特別養護老人ホームの建設に着手し、超高齢化社会に対応する。

また乳児保育や延長保育など多様化する保育ニーズに対応し、子育て支援対策の充実を目指す。

今年、2000年国体開催の年であり、町民総参加のもとに、全国から集まる選手を心から歓迎し、大会の成功と併わせ、スポーツレクリエーション振興と推進に努める。

# 21世紀への



福祉の拠点

## 新特別養護老人ホーム建設へ

### 「香り高い文化のまちづくり」

ことばの教室開設事業費

(82万円)

心の教室相談員事業費

(53万円)

14歳の挑戦事業費

(83万円)

教育センター管理運営費

(1167万円)

国際交流推進事業費

(448万円)

下山芸術の森企画展示事業費

(661万円)

町民会館管理運営費

(9822万円)

散居村サミット開催事業費

(314万円)

たくましい実践力と個性豊かな児童・生徒の育成を目指して、教育内容の充実と環境の整備を推進する。特に要望のある「ことばの教室」「心の教室相談員」「14歳の挑戦」事業等実施し、心豊かな人間性を育む教育に努める。また、町民会館や下山芸術の森を核として魅力ある展示やコンサートなどを開催し、芸術、

文化の振興を図る。健康交流プラザのオープンに併わせ、全国散居村サミットを開催して地域間交流の推進を図る。

### 「自然を生かしたうるおいのまちづくり」

幹線道路整備事業費

(2億3453万円)

道路改良舗装事業費

(1億1245万円)

中央通り線整備事業費

(2億6454万円)

クリーン入善7129作戦事業費

(2003万円)

公営住宅建設事業費

(3億855万円)

除雪対策事業費

(7575万円)

下水道関連事業費

(32億6350万円)

防災対策費

(8577万円)

情報化推進事業費

(7059万円)

幹線道路整備計画に基づき、平曾川国道線・上原吉原線など、また、市街地活性化に欠かせない中央通り線の整備を推進する。

冬季交通の確保を図るため、消雪施設の整備と除雪機械を更新し無雪害のまちづくりを推進する。

かけがえない地球環境を守るため、ゴミ問題、環境汚染問題などに対処し、快適な生活環境の保全に努める。4年目を迎えた下水道事業は順調に進んでおり、認可区域を拡大して管路整備の促進を図る。高齢者に優しく、若者の定住促進を目指して東町住宅の建て替え1棟15戸の整備を進める。

予期せぬ災害に対応して防災訓練の実施、自主防災組織の育成、並びに高度情報化に対応した行政情報システムの強化、町内LANの充実を図り、効率的な行政運営に努める。

### 「未来にはばたく活力あるまちづくり」

生産調整推進対策事業費

(6639万円)

土地改良事業負担金補助金

(1億2522万円)

さわやか漁港海岸整備事業費

(3億3147万円)

漁港改修費

(1億683万円)

漁港高度利用活性化対策事業費

(3億4197万円)

海洋深層水活用推進事業費

(679万円)

商工業振興事業費

(3億2219万円)

観光事業費

(1378万円)

町の基幹産業の農業を取り巻く環境は大変厳しい状況であり、引き続き「とも補償」の助成、特産物振興助成、水稲直播栽培普及助成、など農業経営体質強化への施策を積極的に推進する。

漁業はいま注目されている「海洋深層水」の供給施設を建設して、蓄養や養殖事業による、作り育てる漁業の推進や経営の安定、魅力のある漁業漁村整備を目指す。また、長引く景気低迷に対応した融資制度の拡大や中心市街地活性化プランに基づきまちづくりに取り組むなど、商工業振興対策を積極的に支援する。

# レポート

3月16日・17日・21日の3日間、総務、教育福祉環境、産業経済の各常任委員会が開催され、付託案件を審議した。

以下、常任委員会の要旨を報告する。

## 総務

景気回復が進まぬ厳しい財政状況、最小の経費で最大の効果に期待

### 7年連続大型予算、財政計画に格段の努力

町税が1・7%減と伸びず、地方譲与税や地方交付税の増収を見積って、財源の確保にとめたが、歳出に見合う歳入の確保が困難なことから、町債の発行や大幅な基金の繰り入れを余儀なくされての苦しい予算編成である。

特別養護老人ホーム建設補助、海洋深層水事業、公営住宅建設事業や町債の償還など総額13億6997万円の基金取り崩しであり、今年度の町債残高が110億円と膨大である。財政調達の苦しい現状での効果的な基金の活用と十分な検討を行う事が肝要であり、国県も大変厳しい中において、いつ交付税の減額、補助事業の見直しといった事になるかもしれない今日、事業

の決定に当たっては、従前に増した厳正な選択に傾注するよう切望する。

### 新世紀にふさわしい新総合計画に期待

町の将来を決める新総合計画策定事業が、地域づくりアドバイザーに委託し、21世紀の夢のあるまちづくりにと日夜研鑽努力されている事に対し敬意を表する。近年の社会情勢に鑑み、向こう10年をしっかりと見据え、主人公は町民であり、町民のための町政との認識に立ち、後悔のないよう新世紀入善を目標に策定するよう強く要望する。

### 後戻りできない 桐山小学校跡地 利用計画

総合計画に基づいて、各小学校が統合し教育にかけ

る町として今日に至っている。

小学校跡地利用整備計画で整備が遅れているのが桐山地区である。県下でも屈指の立派な木造校舎であり、文化遺産の申請をすれば認可になるやに仄聞するが、地元の要望では取り壊しを望む声が多いのが現状である。

当局が中心となって、専門の建築家に鑑定依頼し、地元住民と十分話し合いを行い、あと悔やみのないよう、計画策定に当たって頂きたい。

## 教育福祉環境

### 特別養護老人ホーム建設 着手に予算計上

町民が永らく待ち望んで

いる、特別養護老人ホームの建設に、3億2300万円の予算化にこぎ着けた当局の努力を高く評価する。健康交流プラザのオープンと共に大きく期待するものである。

しかし、今後の経営を心配する意見もあり、万全を

期されたい。

### きめ細かい介護 サービスを望む

4月よりスタートする介護保険制度は、町民の関心と期待も大きく、新規の在宅介護支援事業でケアプラン作成システムの活用等

### 固定資産評価委員

#### 高見武氏の選任に同意



平成12年3月21日で任期満了の青木幸秋氏の後任に、選任することに同意した。

住所 入善町春日432番地の2  
生年月日 昭和12年12月6日生

万全の態勢で対応するよう強く要望する。

### 少子化対策を評価する

今まで2才児まで通院医療費を無料にしていたが、本年4月より就学前児童の通院医療費無料化に踏み切り、また、保育料の10%軽減は時宜を得たものであり評価する。

また、3月22日に竣工した芦崎保育所には、地域交流室が設置されており、異世代間交流の促進に努められたい。

今後は少子高齢化社会に即応した「託老所」的機能を兼ね備えた保育所利活用の検討を望む。



出番を待つ育苗センター

# 常任委員会

## 産業経済

新たな特産品の開発に  
一層の努力を望む

転作の強化と共に生産者米価の引き下げは農業に対する意欲の減退につながり、農業離れに拍車がかかることを危惧するものである。

農業を基幹産業としている本町としては、新たな特産品の開発促進が大変重要

な課題であり、農業者ほもとより、県、JA入善町等関係機関とも協議を重ね、特産品の開発に一層の努力を望む。

### 廃棄物対策の

### 計画は早急に

畜産物の自由化が一層進む中で、今後さらに廃棄物の厳しい規制強化が実施されれば、畜産農家は廃棄せざるを得ない状況になることは明らかである。

新年度において、廃棄物対策の計画が作成されるとの事、畜産経営の厳しい現状と畜産農家の意見を取り入れた計画づくりを強く望む。

### 町が中小企業の

### 相談窓口

長引く不況の中で、中小企業経営者の苦労は大変だと認識している。これらの人達の相談窓口として、町が直接親身になって、その手立てを相談し、共に悩み、打開策を見いだしていく、この姿勢を町に強く求める。

中小企業支援センターの設置については、その役割が期待されている。

貸し洗りにについては拡大されたいよう、町内の金融機関に対し要望された。

### 町営バスの運

### 行計画の検討

### を望む

町民の足を守るとい立場で、コースの見直しなどを含め積極的に対応し、町民の期待に応えて頂きたい。

また、健康交流プラザなど町有施設の完成などにより、各課がそれぞれの立場で横の連絡を密にして、町民の立場に立った運行計画を検討するよう強く望む。

## みなさんの請願

## 陳情のゆくえ

### 議員提出議案を可決

左記の意見書を国に提出した

地方自治法第99条第2項の規定により  
意見書を提出する。

平成12年3月23日

◎子ども一人ひとりの健やかな成長を願って30人以下学級の実現を求める。

子どもの健やかな成長と実のある教育実現を願って30人以下学級の実現に向けた法整備と教職員定数等の財源措置を図られるよう強く要望する。

◎森林・林業・木材産業基本政策の確立を求める。  
林産物の供給、水資源の涵養、山地災害の防止等国民生活と密接に関わってきた森林の荒廃が著しい。国土保全、環境維持に対応するため、基本法の確立を求める。

○子ども一人ひとりの成長を願って30人以下学級の実現を求める請願書

採択

○新幹線事業及び直轄工事に地元建設業者の参入についての陳情書

採択

○森林・林業・木材産業基本政策の確立に関する陳情書

採択

# 一般会計補正予算



飯野改善センター



横山漁村センター

3月議会に提案された、平成11年度の補正予算は一般会計で歳入歳出をそれぞれ2億8696万円を追加し、総額120億6637万円とした。

特に今回の予算補正の主なもの、4月1日から施行される介護保険制度に関連し、介護予防に関する事業が予算化されたことである。

また、産業の育成や快適な生活を送るための生活関連施設の整備事業に補正予算が組まれた。その概要は次のとおり。

飯野改善センター  
横山漁村センター  
野中あぐり館

## 介護予防拠点

## 整備事業費つく

介護予防拠点  
施設整備費  
3560万円

高齢者にも利用しやすく、活動の拠点とするため、これまで利用者のみなさんから要望の強かった飯野の農村環境改善センターのバリアフリー化の工事と横山の漁村センター及び野中のあぐり館の冷暖房設備を設置する。

高齢者への  
情報化対策  
230万円

介護保険を広域化して取り組んでいることに伴う町からの派遣職員の人件費や町が単独で行う場合に比べて軽減された分を、独自の介護サービスを行うための財源として保険組合で積み立て、将来に備える。

新川地域介護  
保険組合負担金  
3769万円

高度情報化社会の中で高齢者が自由に情報を得、学習意欲を高めるために老人福祉センターにコンピュータを設置し、だれでも利用できるようにする。

社会福祉事業  
に対する基金  
積立金  
2億5000万円

現在計画中の特別養護老人ホームの建設費用に充てるために積み立てる。



野中あぐり館

# 平成11年度



東町住宅と建設用地

## 福祉医療費

159万円

重度の心身障害者や乳児  
妊産婦の健康を守るため、  
医療費の助成費用として、  
増額した。

## 医療費の支払 のための繰出金

1065万円

高齢者の医療費の支払い  
をする特別会計へ一般会計  
から繰り入れ、医療機関へ  
の支払いにあてる。

## リサイクル運 動推進事業費

7万円

リサイクル運動の推進の  
ため、資源回収団体への報  
償費。

## 墓地公園の 緑化工事費

73万円

上飯野の墓地公園の生け  
垣の植栽工事を行い、公園  
内の緑を増やす。

## 東町住宅の 建替事業の 調査費

211万円

東町住宅の建設予定地の  
地質調査を行うための委託  
料。  
なおこの地域は、埋蔵文  
化財の包蔵地となりにあ  
るところから、教育委員会  
により文化財があるか確認  
の作業が行われた。

## 農地流動化促 進対策事業費

215万円

農業経営の安定と効率化  
を図るため、農業の担い手  
に農地を集約していくため  
の補助金。

## 農業経営基盤 強化利子助成

68万円

農業の担い手が新しい機  
械や設備を導入するために  
した借入金利子に対する補  
助金。

## 土地改良 事業費

8545万円

飯野地区や新屋地区の土  
地改良事業や庄助川の改良  
工事費に対する負担金や補  
助金。

## 農道の改良 事業費

262万円

農道の改良事業による工  
事の負担金。

## 県道改良 舗装事業費

600万円

県道の舗装工事などに対  
する負担金。

## 漁業構造再編 対策事業費

242万円

日本海のイカ釣り船の減  
船に対する補助金。

# 一般質問



第24回定例会

入善駅に通じる都市計画道路

ここが聞きたい……

## 町政を問う

13人の議員が登壇

3月議会の一般質問は、14日・15日の2日間おこなわれ、13人の議員が質問をした。

介護保険の取り組みや新総合計画、関心の高い海洋深層水事業や農業問題等、多くの傍聴者を前に、激論が交わされた。

主な内容は次のとおりである。

(注) 一般質問は、本人が原稿を書き、原則としてそのまま掲載した。

- 介護保険スタートについて
- 入善町健康交流プラザについて
- 町長の基本姿勢と新総合計画について
- 総合的教育と学校給食について
- 地場産業育成策と特産物づくりについて
- 深層水事業の問題点と推進策について
- 宇奈月タムの完成と排砂問題について
- 地域情報化計画の推進計画について
- 町営バスについて
- 高齢者福祉施策の基本理念について
- 中心市街地活性化について
- JRR入善駅「夜間無人化」対応策について
- 海底のヘドロと浮泥について
- 職員の資質向上策について
- 県工事の事業促進について
- 入善町海岸道路整備促進について



# 遅れている「プラン作成」の対応策は

大橋 美椰子 議員

## 町長 ケアプラン作成が間に合わない場合 現行サービスを継続する



配食サービス

**問** 要支援を含む要介護者422名の施設入所者・在宅介護者の「プラン作成」の現況はどうか。

**米澤町長** 在宅の要介護者約350名、内約250名がケアプラン作成依頼を申請済み。約100名については早急に連絡を取りプラン作成を進める。3月中の完了は難しい。作成が間に合わない場合、とりあえず現行サービスを継続する形で対応する。

**問** プランが作成されないといふと、費用の全額をいったん自分で支払い、後日介護保険から給付され償還払いとなるが、これを健康福祉課で代行するのか。

**上田健康福祉課長** 一割負

担でやっていきたい。施設内の方々のプラン作成は4月のスタートに間に合うと考えている。

**問** 配食サービス、外出支援サービスの具体策は。

**町長** 12年度から国庫補助事業が創設されるので、この中で取り組んでいく。利用者の要望を聞き、回数を増やす方向で検討する。今までは無料だったが、12年度からは1食200円を負担していただく。

**問** 外出支援サービスは「つくし号」での移送サービスを実施、2台目の新車両も購入したので利用の促進に努めたい。

**問** サービス提供日が祭日になった場合の対応は。

**町長** 施設の利用は定員があるため不可能。ホームヘルプサービスは祭日の実施または翌日利用等対応できるように協議する。

### アンケート調査 町民の関心度

「大」

**問** 男女共同参画社会の実現への調査の実態把握は。

**町長** 介護や高齢者に対するサービスの充実、企業への育児休業や介護休暇など積極的なPR活動が必要。女性の40%が仕事に必要な能力を身につけたいと考えているので、要望に応えるための施策の必要性を痛感

### 8月オープン 入善町健康交流 プラザ

している。男女共同参画社会の実現には、制度の周知徹底、働く仲間の意識改革など行政サイドで把握しきれない問題が多々ある。

**問** 施設迄の交通をどう考えているのか。

**町長** 「のらんマイ・カー」の運行路線に組み入れる。タクシーによる通所者送迎委託料の増額を行う。プラザを核としたボランティア活動の輪を広げる。



衛生に厳しい目

# 町長の基本姿勢と 入善町のビジョンを問う

西尾政巳議員

町長

## 福祉施策の充実と持続的な定住人口の確保

問 町長の基本姿勢と入善町のビジョンとは。

町長 町政運営の基本は、少子・高齢化の進行に伴う福祉施策の充実と新たな産業振興による活力の維持向上だが、町の人口は、平成22年には2万5000人台まで減少するおそれがある。将来施策は持続的な定住人口の確保である。

問 地方分権一括法の最大のねらいは町村合併にある。積極的に進める考えは。町長 一市町だけの問題ではないので慎重に対応する。

問 人口が減れば、経済の活力がそがれ税収も伸びない。

町長 町の財政基盤に影響を及ぼす事務事業の見直しや、一層の行財政改革を

行う。

### 深層水で

#### 活力を

問 地場産業の育成策と特産物づくりは。

町長 本町の地場産業は何かといわれると、はたと困るのが現実ではないか。いま町にある大企業は、水と質の高い労働力、安い土地を求めて進出したものである。深層水も、高品質で貴重な素材だと認識している。

問 介護保険は細部の詰めがなされないままにスタートするが、対応策は。

### 介護保険に伴う 行政の対応策

町長 ご指摘のとおり見切り発車的な部分がある。町としては、みんなの意見を聞き、よりよい制度にした

問 弱者救済は世の常であるが、親が子に見捨てられるような社会だけはゴメンだが、町の考え方は。町長 目指すものは住み慣れた家で、残された能力で自立・生活し、基本は家族の介護である。

問 介護保険導入に伴って競争原理が働き利用者獲得競争も激化すると予想されるし、介護施設の経営状態の二極化が心配されるが。町長 サービスの質が向上することと裏腹に経営不安の事実も出る。介護契約が適正に行われているか、常に監視・評価する必要がある。

問 学校教育に父性復権を取り入れる考えはあるか。米島教育長 全く同感である。学校教育は家庭教育の延長である。

問 給食等で消毒のしすぎで無菌の世界にするとかえって雑菌がはびこる。連休明けや、夏場のくさりやすい時期の飲料水の管理は大丈夫か。

福沢学校教育課長 飲料水の管理は適時やっている。ご指摘の死に水対策には細心の注意を払っている。

# 海洋深層水事業の具体的推進策を示せ

山下 勇 議員

町長 深層水による養殖事業は全国で初、  
入善ブランド魚として販売したい

問 入善町三漁協が合併した後、経営する養殖事業について、一部に不安の声があるが。

町長 本町の漁業は定置網や刺網漁業が中心で、その漁獲量は減少し、新たに海上での漁場開拓は望めない状況であり、深層水を利用した養殖施設は必要で、それによって持続性の高い漁業の振興を図る。

問 海底の汚濁問題並びに補償金の内容が未だに不透明感がある為、そこに次のステップに踏み出せない原因があるように考えられるが。

町長 新しい事業なので漁民の間では一部に不安の声も聞かれるが、三漁協では

一致協力し事業を推進していくことで確認がなされており、漁協を中心に漁業者の理解を得たいと考えている。

問 きれいな海を取り戻す為の方策と補償金の使い方は。

町長 県漁連の振興特別積金については、漁協の役員によるワーキンググループが設置され、使途について検討中であり、排砂に伴う漁場調査に使用したい意向もある。一方、町では磯焼け現象が起きており、海の畑づくりと藻場づくりの方策を検討している。

問 非水産部門と指導者と企業誘致の展望は。

町長 町が取り組もうとす

る深層水事業は、蓄・養殖等の分野からスタートする計画だが、長い目で見れば非水産部門の研究開発にこそ大きな期待が持てるのではないかと。魚の養殖事業は技術的に難しく、深層水を使った魚種の種苗生産の第一人者である、県水産試験場OBの方に週2回程度来ていただくことになっており、新規産業の誘発誘致、及び立地に期待し、周辺道路や産業インフラの整備と企業誘致を効じていきたい。

## 宇奈月ダムの 完成と排砂

問 宇奈月ダムは多目的ダムとして、どの様に活用するのか。排砂との関連性と被害責任の所在と被害防止協定の締結はどのようになっているか。

町長 洪水調整が出来ることにより下流の水害を防ぎ、入善町の上水道8000ℓを将来に備え確保、最大20000kW約3000戸の家庭で使う量の発電能力がある。被害が出た場合の責任の所在は、宇奈月ダムではなく、黒部川出し平ダム排砂影響検討委員会の意見を尊重し、対処することになっている。



喜ばれる町営バス

# 福祉バス廃止に伴う町営バスの全面見直しをせよ

元 島 正 隆 議員

町長

## 健康交流プラザを拠点とした新ダイヤの編成に取り組む

問 福祉バスが5月末で廃止、町民の要望に応えた町営バス(のらんマイ・カー)1台では無理と思われる。健康交流プラザを核としたダイヤの見直しなど基本的な交通施策の検討をしているのか。

町長 福祉バスは現在、老人福祉センターへの送迎用として運行してきたが、昨年開始した町営バスとの調整、一本化を図ることが、町民の利便性、経済性につながるかと考え、車検が切れる5月末をもって福祉バスを廃止する。

また、健康交流プラザが8月にオープン予定でありそれまでに町営バス運行委員会や商工振興審議会等で現在通っていない空白地の問題、台数の問題、ダイヤの編成などを審議し、それらの意見を参考に利便性の高い親しまれる町営バス運行計画を策定する。

### ポイ捨て防止 条例、町民への 理解と周知

問 地球的課題とされている環境問題がさげばれている今日、身近な問題としてポイ捨て条例の策定を手掛

けてきた入善町であるが、まだまだの感がある。利益主導型の店舗営業、缶ジュースは売れるが回収容器は置かない、回収容器がないからあちこちに捨てる、一人ひとりのモラルの問題であるが、自治体の責任においてリサイクル化がさげばれている今日、快適な生活環境を確保するためにどのような指導に努めているか。

飛田住環境課長 町ではパトロールをして監視しているが、誰がポイ捨てしたのか解らないのが現状である。空き缶のポイ捨てや飼犬の糞の不始末等をされた方を見られたら担当課まで連絡いただくよう各種団体の研修等でお願しているところである。

今後、ポイ捨て防止の徹底を図るため、看板の設置、チラシ等の配布や保健衛生協議会、また、環境保全監視委員のご協力を得ながらポイ捨ての防止を呼びかけていく。

### 入善町地域情報化計画の推進について

問 21世紀の町情報化のコンセプトは何か、次の総合

計画年次である、10年先の情報化の指針を示されたか。

町長 新世紀を迎え、情報技術の急激な進歩は、新しい21世紀の社会やライフスタイルが求められている今日、町では行政情報の一元化を目標に、庁内LANの整備を進めている。

公共病院のない町として自宅にあるパソコンやテレビ電話を使って、医者や保健婦との健康相談や生活指導のやり取りができる在宅健康サービス、在宅療養サービスなどの福祉ネットワークサービスの構築が必要と考えている。

国が2010年まで、全国的に光ファイバー網を整備するよう各省庁が進めている中で、建設省が敷設している情報ボックスの活用、下水道管の利用など行い、入善町一円の光ファイバー網の整備を進めて行きたい。将来を見据えた情報化計画を、外部有識者などで構成する情報化策定委員会等で検討し、指針を示す。



健康は自らまもる

# 新総合計画は、自然や産物

## 地域資源を活用せよ

広瀬 喜代志 議員

町長

今後、具体的な施策の展開を検討したい

問 総合計画策定に当たっての重点施策を問う。

町長 基本構想の骨子案と基本計画の基礎調査を進めており、「少子・高齢化への対応」「水資源の保全と活用」「循環型社会の構築」「地球情報化の推進」「若者の定住促進」などを今後取り組む重要課題としている。

問 人口動態をどのように生かしていくか。

町長 人口の維持や増加を図るためには「働く場」や「住む場」の確保はもちろんのこと、町がもつ「自然の美しさ」や「暮らしやすさ」といった町の特徴を大切に

する施策を行いたい。

問 町民主役の施策について

町長 町を支える活力にはエルダー社会の方々の英知を結集し、町民主役の諸施策の体系を「住む・暮らす」「安らぐ・憩う」「働く」「遊ぶ・集う」「学ぶ」といった事をまちづくりの柱とする。

問 教育面の施策に獨創性を必要と考えるか、いかなる面を考えているか。

教育長 一、積極的に学校を開放し、豊かな人生経験や技術を持った人々に授業の一部を持ってもらう。

二、少年スポーツクラブの育成。

三、各公民館に工作教室や

理科教室、絵画、造形教室などをつくる。

四、人材バンクを作り登録していただき、学校、地域、家庭の連絡を密にする。

坂本教育委員長 人生体験が何よりも勝る教育だと考える。14才の挑戦での体験等を強力に推進。心の大切さ、ふれあいの大切さを教育指針としたい。

問 バブル崩壊後の入善町における就学形態の変化と雇用状況はどうか。

町長 1985年においては第二次産業が47%、第三次産業が約36%であった。1995年に於いては第二次産業は22%減少したが、第三次産業のサービス業が

20%増加した。今後は知的集約型社会へ移行されるものと思われる。雇用の安定を図る為に分野事業の育成を図り、雇用安定に各方面と連絡をとって行きたい。

問 豊かさの実感でできない原因と施策はなにか。

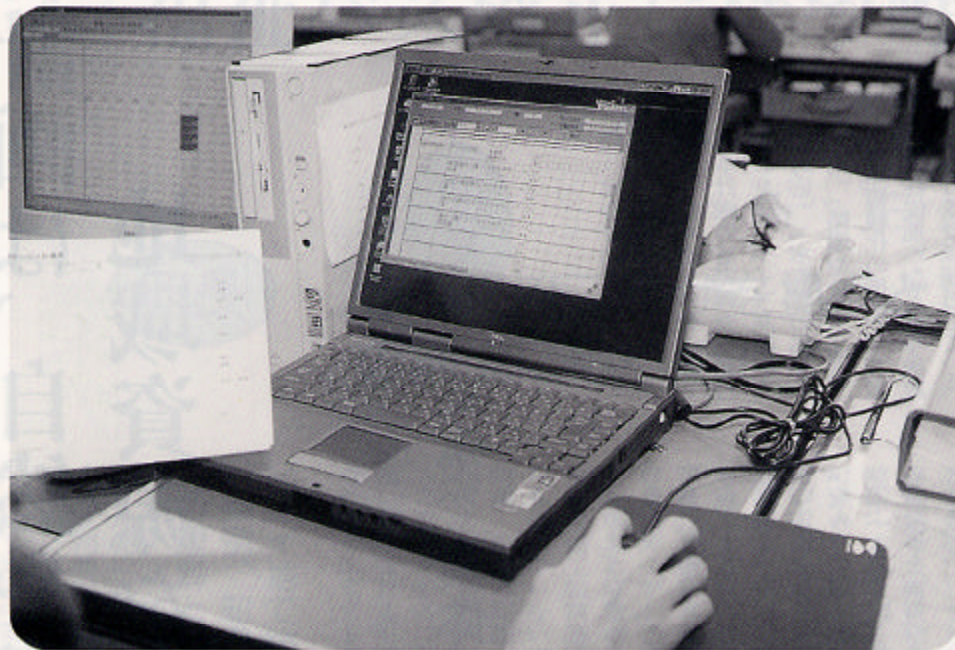
町長 豊かさには「心の豊かさ」「経済の豊かさ」「自然環境の豊かさ」この条件の整備に最善を尽し、安心して暮らせるまちづくりを行いたい。

# 低所得者の介護保険料に 助成が必要

九里郁子議員

町長

新川地域介護保険組合で協議する



ケアプラン作成

**問** 65歳以上のうち老齢福祉年金受給者に対して保険料および利用料を助成する必要はあるか。

**町長** 新川地域介護保険組合で実施後、問題が生じた時に協議することで合意したので同一歩調をとる。

**健康福祉課長** 老齢福祉年金受給者で町民税非課税世帯は13人程。保険料助成に必要な額は約21万円である。

**問** 現在、ホームヘルプサービスは無料だが、介護保険では利用料の10%負担となる。低所得者などに助成

が必要である。

**町長** 問題が生じれば検討したい。

**問** 支給限度額を超える自己負担分や、「自立」とされた高齢者にどのように対応するのか。

**健康福祉課長** ホームヘルパー派遣、デイサービス、ショートステイなど町単独予算で対応したい。

**問** 介護保険料が国民健康保険料に上乗せされ、国保税を払えない人から保険証取り上げは、国民の生存権を奪うものであり、実施すべきではない。

**町長** 悪質な滞納者に資格証明証交付を検討する。

**問** 広域化による費用効果をとどのように活用するのか。

**町長** 住民に還元することを介護保険組合で合意している。

**問** 公民館などを託老所的な施設に整備する考えはあるか。

**町長** 町内公民館の託老所の利用は町内ぐるみで検討してほしい。

**問** 苦情、相談に対する体制の確保が必要である。

**町長** 町が当然第一義的な苦情処理の窓口である。

## 常設の資源回収施設増設を

**問** ごみ問題は製造事業者排出事業者の責任など根本的な対策が問われている。ゴミ販売による新川広域圏事務組合全体の収支はどのようになっているか。常設の資源回収施設の増設が必要か。

**住民環境課長** 収入額1億5440万円、製造費、手数料7850万円、差引き約7600万円は資源回収委託料や減量化啓発事業費に当てられている。常設資源回収施設の増設は検討したい。

## 町営バスを

### 増やせ

**問** 町営バスの台数、路線をなぜ増加しないのか。近隣市町への通院者の便を計る考えはあるか。

**町長** 運行委員会と検討していきたい。町の交通体系の整備が先決と考える。

# 中心市街地活性化について問う

上田 健次 議員

町長

13年度総合計画との整合性を

とりながら推進



救急救命士による講習会

問 中心市街地の活性化とまちづくり会社設立の具体的な事業内容を示せ。

町長 ①武村福祉会館北側の道路の拡幅と新設

②武村福祉会館周辺を中心とした高齢者や若者向けの公営住宅の建設

③花月公園の再整備

④武村福祉会館の再構築などの事業を展開していきたいと考えている。

中心市街地活性化法ではまちづくり会社を設立し、

事業に対して補助率や、税制面での様々な特典が用意

されているが、運営資金捻出の問題もあり、全国でも

成功している例はあまりないのが現状である。入善町

では平成12年度を「まちづくり会社」設立準備の年と

位置付けており、町はもちろ

んのこと、商工会や商店街の人たちとも協力しあって

組織体制の構築に向け、前向きに取り組んでいきたい

と考えている。商店街の人たちが危機感を持ち「中心

街をこうしていくんだ」という力強い団結がないと前

進はありえないものと考えている。平成13年度からスタートする町の総合計画と

の整合性をとりながら推進していく。

救急救命士は

4名以上必要

問 救急救命士の現状と、今後の計画はどうなっているか。

町長 町では現在1名が任務についており、また2人目が研修中である。4名以上必要であり、平成13年度末までに新たに2名の増員をはかり、救急車には常に救命士が乗務出来る体制を目指していく。技術レベル保持、及びレベルアップのための年間一定期間の生涯研修が義務付けられており病院研修や署内研修等を継続実施していかなければならない。平成12年度予算で要望している高度救急救命処置シミュレーターも、救急救命士の日常訓練並びに一般隊員の技術レベル向上に必要なものであり、今後ますます要求される高度な救急需要に応じていく。

問 特別養護老人ホーム入

所者受け入れ及び、運用開始計画を示せ。

町長 町には70名以上の入所希望者があり、県・町・施設等で、このような方が優先的に入所出来るよう協議している。特別養護老人ホーム「おあしす新川」については、町の希望者が優先的に入所できるものと考えている。また本年6月に予定している社会福祉法人設立認可がおりてから、法人が実施主体となって建設にとりかかる。今後、施設設計、造成、工事発注を進めていき、13年度の出来るだけ早い段階に運用開始入所を希望されている皆さんの要望に応じていく。



介護相談

# 入善海岸の利活用を図れ

五十里 隆 章 議員

町長

観光的要素をとり入れ、発展させたい

**問** 健康で長生き、介護を必要としない人生が理想である。そのための総合的な施策が必要。どのように考えているか。

**町長** 高齢者の9割が健康者と推察している。町は従来から、老人クラブの育成、高齢者スポーツの振興、シルバー人材センターの運営補助等、積極的に生きがい対策、介護予防に力を入れている。なおシルバー人材センターには作業場が不足しているので、ワークプラザ建設も考えている。  
**問** 痴呆は介護認定が受けにくく、家族の負担が大きい。どのように対処するか。また、一人暮らしの対応は。  
**健康福祉課長** 閉じこもり対策として、高齢者の

情報サロンの設置を考えている。社会福祉協議会と連携し、趣味講座、痴呆予防教室といった事業の展開が必要である。従来も対応してきたが、高齢者福祉推進員の増員を図りたい。入善郵便局のひまわりサービス、福寿会連合会の訪問サービス事業等、ネットワーキングしていきたい。

**町長** 痴呆の相談窓口を健康交流プラザ内で設置したい。  
**問** 高齢者のスポーツ支援として、県内大会出場のためのバスの要請について。  
**鬼原総務課長** 従来も対応しているが、運行調整上、年間計画等示してほしい。  
**問** 黒部川扇状地が町の重要な財産である。深層水事業のグレードアップ、海の

持つリラクゼーション効果、レクリエーションの場として、じょうべのま遺跡、沢スギ、園家山キャンプ場等、沿岸一帯の利活用策は。

**町長** 釣り客は年間8000人と聞く。フィッシュャリーナやマリナーなどの整備が必要と考える。黒部川扇状地全体に広がる利活用可能資源の開発と保全を進め、エコミュージアム構想と位置づけ、観光的要素も含め、発展させたい。  
**大木企画広報課長** 園家山キャンプ場で年間5500人、沢スギ自然館は2万人、釣り客8000人、計3万5000人から4万人ぐら

い。海沿線を訪れている。沢スギやじょうべのま遺跡は広域圏で進めている水博物館構想の中のサテライ

ト施設として位置づけられると考える。このように点在する施設を有機的に結び、シーサイドロードとして、車だけでなくサイクリング、遊歩、ジョギングコースとして海岸線の一体的整備を図る事業として積極的に進めるべきと考える。  
**木本助役** 従来海岸法が「海岸環境の整備と保全及び公衆の海岸の適正な利用を図り」と一部改正された。今日までは利活用については建設省の許可をもらうという仕組みだったが、町としては知恵を絞り具体案を示し、建設省と協議し、総合計画の中で、しっかりと位置づけたい。





JR入善駅無人化反対の陳情

# 教育は人づくり 入善町教育行政の推進策を示せ

東 狐 和 議員

**教育長**

社会の変化に対応し、自ら考え

解決する力を養う教育をめざす

問 総合的学習のとりくみはどうなっているのか。

教育長 総合的な学習の時間は12年度から移行期間で小中学校の裁量で行う。教科書がなく環境、人権、情報、福祉、国際理解などのテーマで学校の創意工夫を生かし実施する。

子どもたちが、「自分で課題を見し自ら考え、自ら解決力を養う」ことがねらい。14年度から正式に導入される。

問 学校評議員新設について。

教育長 学校評議員は校長の推薦のもとに教育委員会が委嘱することになっていて。今後検討し研究する。

問 教員の適性について。

教育長 非常に難かしい事だが、次のように思う。

①子どもが好きなこと。  
②子どもの個性や

特性を発見し、伸ばせること。

③人間として立派なこと。

問 教育委員会のあり方について。

教育長 地方教育行政の組織及び運営に関する法律が一部改正された。今後は教育施策主体である本会が、教育・文化・スポーツ等多様化する地域住民に的確に対応し、教育行政を主体的積極的に展開できるように使命を果たしたい。

問 地域の教育計画について。

上原生涯学習・スポーツ課長 ボランティア活動とは、「自分のため」のものであり、地域ボランティアリーダー育成にむけ、熱心に活動している団体に、継続して支援する。

問 2000年国体の取り組みは。

上原国体推進室長 歓迎ムードを高め、町民運動推進協議会を中心とした各チームへの応援体制を組織し、入善町の特徴を盛り込んだ大会にしたい。

JR入善駅

夜間無人化は

重大問題

問 JR入善駅「夜間無人化」の対応と情報提供を図れ。

町長 再三陳情を重ねてきたが、JRでは委託化は1カ年延期するが、就業時間は午前7時から午後8時15分まで。

①午前6時に待合室の鍵を開け、コンコース、待合室、トイレ等の清掃業務と午後10時半に待合室の鍵かけを町のシルバー人材センターに委託する。

②夜間、不定時に入善駅、西入善駅の巡回警備を警備保障会社に委託する。

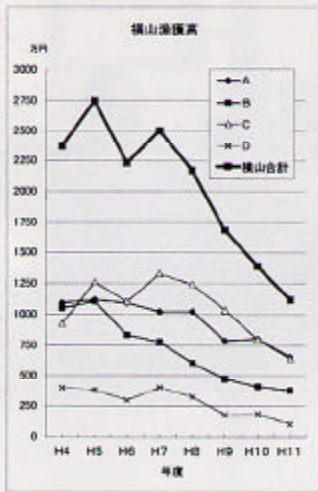
③入善警察署に駅周辺の警察の強化を要請する。

問 安全で安心な生活をどのように守るのか。

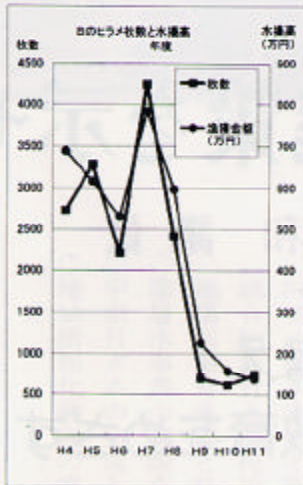
総務課長 新潟の女性監禁事件を教訓とし、町では防犯協会の協力で携帯防犯ブザーを小学校へ配布。子ども110番の家を150軒に委託した。

問 シルバーハウジングをとり入れた東町住宅の建設計画はあるか。

松島建設課長 高齢者向け住宅として手すり、エレベーター、緊急通報システムの設備をそなえる。



グラフ 1



グラフ 2

問 ヘドロのサンプルは吉原沖の物だ。これが原因で海底付近は酸欠状態になっている。

グラフ1のように、横山の刺し網漁師の漁獲高が平成7年と比べて、 $\frac{1}{2}$ から $\frac{1}{3}$ まで減っている。

グラフ2はヒラメの漁獲枚数と売上を表した物だが平成7年以降激減している。

問 大量の排砂があった年だ。町は徹底した海底の調査をすべきである。

助役 町独自ではなく、土砂管理協議会で調査するよう強力を要請する。

問 横山漁協の役員会の中では、「三漁協合併後に再度協議する」となったそうだが、役員会に同席していた大角課長はどのように聞いたか。

大角農業水産課長 合併後、再度協議して採択するか決めるとの事だった。

助役 合併後に事業採択すると認識している。

問 町の融資制度である節季資金の融資件数が今年度激減しているが、金融機関の貸し渋りが懸念される。

中小企業の経営は大変厳しい状況だ。町は経営実態を良く調査し、きめ細かな対策をとるべきだ。

飛田商工観光課長 事業者は県の小口事業資金など公的融資を利用するようになった。節季資金は、今後見直しを検討する。

不況対策は商工会が相談を受け、指導、助言している。

問 政府は、ミニマム・アクセス米の輸入は義務でない事を認めた。町は輸入米制限のための具体的行動を起こすべきだ。

助役 ミニマム・アクセス米は遵守すべきものであると思う。

問 政府の転作作物に対する補助条件の、1畝あたり1作物は、農家に多大な負担をかける。撤回を求めべきである。

助役 条件緩和を、県を通じて訴える。



ヘドロのサンプル

助役

土砂管理協議会に強力に要請していく

海底のヘドロの徹底調査を行え

松田 俊弘 議員

10アールあたり4万円の米の収益では農業は続けれられない



予算特別全員協議会

# 新年度予算の編成と財源確保を問う

谷 昌典 議員

町長

経済新生、社会保障を基本に

21世紀へつなぐ

問 総額196億7044万円、前年比3・5%増の予算であるが、重点施策はなにか、財源に問題はないか。

町長 少子・高齢化、高度情報化、中小企業経営安定、町民負担軽減への対応を重点とし、健康交流プラザ、デイサービスセンターの運営、深層水活用事業、幼児通院医療費助成、保育料の軽減、特養老人ホームの建設、中小企業融資預託金の増額、国民健康保険税の軽減、東町住宅の建設、などを予算計上した。

財源は町税減収や国県補助が不確定であり、積立基金より13億6997万円を取り崩した。

経済新生、社会保障を基本に21世紀につないでいきたい。

## 道路予算前年比

27%増

問 要望の多い道路工事の予算化は考慮したか。

町長 3月補正、新年度予算あわせ、前年比27%増の道路費計上、今後も生活基盤整備に努める。

問 国県補助事業を有利に獲得するための調査研究班

や上位官庁の人材を招聘する考えはないか。

町長 各課担当者に事業実施に当り補助事業の調査研究を行わせ、少しでも有利な補助が得られるよう努める。

## 職員の資質向上

策を問う

問 地方分権と町民ニーズの変化に即応した政策形成創造的能力を有した職員の養成が必要である。庁内意志統一、能力向上研修、昇任、採用試験の実施をどのように行っているか。

助役 組織が共通の目標を持つことが基本である。四役出席のもと課長会議を開き、統制、調整を行い、意志統一を図っている。

職員研修の実施は少ないのが実情である。職員研修所への委託や自治大学、県への派遣、民間経済研究所への派遣など今後とも人材育成に一層の努力をする。

昇任試験は勤務、能力等の総合評価で行っている。

採用試験は外部での学科試験、面接は庁内で行い、面接についても外部民間人的な発想を取り入れる調査研究をしたい。

## 容器包装リサイクル法施行

問 4月から施行の容器包装リサイクル法に対する準備や町民へのアピールは、どうしたか。

住民環境課長 紙パック以外の紙製品及びベットボトル以外のプラスチック製品の容器包装の分別収集リサイクルが拡大された。今後検討する。

## 国県事業の促進に最大限努力をする

問 町負担の少ない直轄事業の促進に努力しているか。

古黒部地内の県道バイパス、水路改修の県対応はどうか。

町長 県道及び水路の事業費は高額を要する。国県の補助事業採択が不可決であり、関係機関に強力に働きかけ、最大限努力していく。



じょうべのま遺跡から海岸を望む

# 入善町百年の計・新世紀の 将来像を示せ

本 多 幸 男 議員

町長

恵まれた自然環境を生かし

若者が定住する町をめざす

**問** 入善町の次代を背負う若者達に町の将来像をどのように示すのか。町長の決意と方針を伺いたい。

**町長** 総合計画策定事務局の基礎調査から、少子・高齢化への対応、水資源の保全と活用、循環型社会の構築、地域情報化の推進、若者の定住促進など重要課題が明らかとなり、具体的施策の展開を検討していく。

**問** 町の将来像を要約すれば清流黒部川と扇状地に住む私達の生き方や暮らしが、皆さんと輝くような21世紀を切り開きたい。

**問** 活気みなぎるまち、福祉の行き届いたまちをつくるためには、まず働く企業

があること、そして税収が伸びることではないのか。

**町長** そのためには町の企業を伸ばし、さらに企業を誘致し雇用の増大と自主財源の確保をめざし、積極的な攻めの行政をやるべきでないのか。

**町長** 産業が伸び、快適な住環境があつて豊かさがある。入善町は今日まで農業を育くみ、企業を誘致し、田園工業都市として調和ある発展をしてきたと認識している。厳しい時代ではあるが、商工業、住宅地など、町の土地利用のゾーニングを決め、産業基盤を確保していきたい。

**問** 町立美術館の位置付け

について担当課と財政当局の間で隔りがある。町長の基本姿勢を聞きたい。

**町長** 総合計画で検討する。

**旧棚山小は町主導で保存すべき**

**問** 旧棚山小学校問題は焦点が混同している。地区コミュニティセンターの建設を約束し、旧校舎は町主導で使用目的を明確にした上で保存すべきでないか。

**町長** 取り壊す方針は地元と考えは同じであるが、入善町に残された数少ない木造校舎でありその面影をとどめる事も大切と考えてい

る。専門家の意見も聞き、一部保存も視野に入れ、整備の方法を検討する。

**問** 町に建設省管轄海岸10km、農水省海岸1・5kmあるが、健康増進と観光に結びつく海岸道路の整備を積極的に取り組まれないか。

**町長** 魚津市の蟹気楼ロードや黒部市石田のような海岸堤防沿いの道路など想定して、入善町も現在の海岸管理用通路を活用できれば、入善漁港から古黒部まで町の名所が連携できる。建設省や関係機関と協議しながら実現に向け、努力する。



町の特産のキャベツ

# 日本の食料自給率40%を問う

長谷友義議員

町長

## 日本型食生活の推進に努力

問 「暖衣飽食」の生活をしていると言われる今日、我が入善町は農業を基本とする町であり、町長はこの問題をどのよう

に思っているか。  
町長 21世紀の農政の指針となる食料・農業・農村基本法いわゆる新農業基本法は昨年成立し、農政は新たな理念のもと、その実現に向けてスタートしている。生命の源は食料であり、その重要性を認識し、日本型食生活を呼びかけ、「暖衣飽食」に陥らないよう努めていく考えである。

高齢者の利用  
するスポーツ  
施設建設を

問 町内で今65才以上の高齢者が6500人、総人口の22・5%と聞く。こうした皆さんにゲートボール等の外に、マレットゴルフ場の施設をつくる考えはないか。

町長 本町においても高齢者の人口割合が今後一層進むなか、高齢者への豊かなライフサイクルを過ごしていただく一つとして、スポーツレクリエーションの役割は極めて重要であると考えている。平成12年度において、入善町マレットゴルフ協会が設立されることから、当該年度の予算でマレットゴルフ用ホールカッターを購入し、運動公園内の外周部緑地に愛好者による手づくりのコース等と考えている。また新総合計画では平成13年度以降、総合スポーツ施設整備事業で、高齢者の皆さんに新スポーツが出来る施設を盛り込みたいと考えているので協力をお願いしたい。

町の特産物の  
開発育成に努力

問 キャベツ等、特産物の生産者の立場から見ると、国から示された施策をそのまま生産者や生産団体に下げるのではなく、町独自の持ち味ある取り組みをするべきである。

町長 減反対策として、大豆を中心とした団地化を促進させ、また町の特産品である「チューリップ」、 「入善ジャンボ西瓜」、 「キャベツ」等のほ場が確保できるよう新たに「特産物ほ場確保対策事業」の事業化、切花、キュウリ等軟弱野菜の産地化を図るため出来る限り支援していきたいと考えている。今後とも関係機関と今まで以上に連携をとり、特産品の育成に努めていく。

# 公共工事入札結果

(H12年1月~3月末まで)

単位：千円

工事名	請負金額	予定価格	落札率(%)	入札回数	落札業者	入札方式	備考
<b>土木建築一般工事</b>							
東狐舗装その2	17,000	17,040	99.8	1	桜井建設㈱	指名競争入札	
芦崎保育所外構	12,500	14,360	87.0	1	㈱五十里工務所	"	
小摺戸改良その2	19,300	19,339	99.8	1	大勝建設㈱	"	
漁港改修その4	35,400	43,554	81.7	1	池原建設㈱	"	
漁協海岸保全 7	31,400	39,098	80.3	1	前田組	"	(制限価格以下7社失格)
漁港海岸保全 8	31,400	37,724	80.1	1	真岩土工業㈱	"	(制限価格以下6社失格)
漁港海岸保全 9	25,000	26,302	95.0	1	㈱飛鳥興産	"	
漁港海岸保全10	24,500	25,774	95.1	1	上島建設工業㈱	"	
交流プラザ周道路	24,000	24,121	99.5	2	広川建設工業㈱	"	
交流プラザ展示	12,500	16,018	78.0	1	㈱シ.ピ.エル	"	
東町住宅造成	36,500	37,208	98.1	1	広川建設工業㈱	"	
発注件数全40件	416,580	455,222	91.5				
平成11年度計	3,491,522	3,830,940	91.1				
<b>公共下水道事業</b>							
入善第80工区	13,600	13,717	99.1	1	㈱大豊建設	指名競争入札	
入善第76工区	15,400	15,483	99.5	1	㈱高沢組	"	
入善第77工区	15,500	15,483	99.3	1	上島建設工業㈱	"	
入善第78工区	18,200	19,157	95.0	1	㈱白又組	"	
業務委託平面図	31,800	37,102	85.7	1	北陸航運㈱	"	
業務委託その2	18,300	18,847	96.3	1	日本水工設計㈱	"	
入善第81工区	22,100	22,448	98.4	2	五十里建設	"	
入善第83工区	18,800	19,001	98.9	1	大勝建設㈱	"	
入善第84工区	16,900	17,098	98.8	1	㈱飛鳥興産	"	
入善外舗装	13,700	13,847	98.9	2	小川建設工業㈱	"	
業務委託その3	20,800	21,358	97.4	1	日本水工設計㈱	"	
発注件数全16件	258,260	268,272	96.3				
平成11年度計	750,260	780,390	96.1				
<b>特定環境下水道事業</b>							
業務委託その4	18,000	18,100	99.4	1	㈱トビシマ技研	指名競争入札	
吉原外舗装	14,500	14,786	98.1	2	広川建設工業㈱	"	
発注件数全2件	32,500	32,886	98.8				
平成11年度計	547,550	556,068	98.5				
<b>農業集落排水事業</b>							
小摺戸第II-48	13,300	13,678	97.2	1	小田建設㈱	指名競争入札	
小摺戸第II-49	29,000	29,791	97.3	1	㈱飯作組	"	
小摺戸第II-52	29,800	32,538	91.6	1	菅島建設㈱	"	
小摺戸第II-50	19,000	19,380	98.0	2	本田建設㈱	"	
小摺戸第II-51	24,000	25,502	94.1	1	中山建設㈱	"	
小摺戸第II-53	13,600	13,802	98.5	1	井田建設	"	
小摺戸舗装	11,200	12,984	86.3	1	広川建設工業㈱	"	
発注件数全7件	139,900	147,675	94.7				
平成11年度計	948,500	975,823	97.2				
平成11年度総計	5,737,832	6,143,221	93.4				

## 公共工事60億円発注

平成11年度町発注の工事価格は、工事変更額、入善浄化センター委託料2億4400万円を含め約60億円の工事を実施した。

## 4億円の歳出縮減

入札結果は93・4%となり、平成10年度の落札率95・3%を2%改善された。指名業者間の自由競争が如実となり、町の財源歳出が約4億円縮減されたことになる。しかし、建設業者とすれば、4億円の利益が減少したことになる。

## 工事見積の適正化を望む

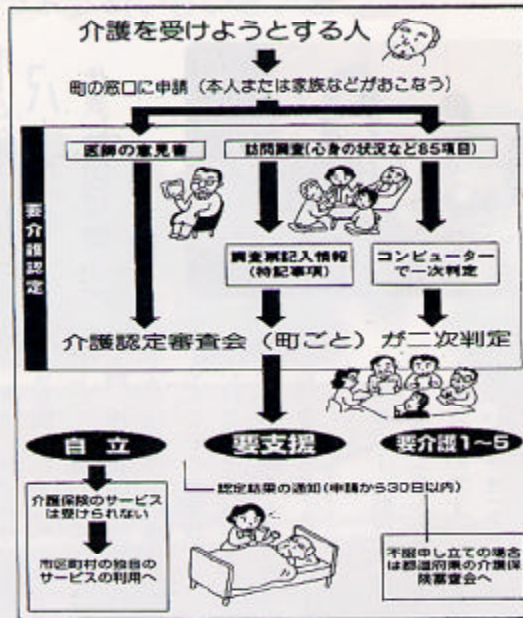
制限価格以下の見積により応札失格が見られる。見積積算技術の進んでいる今日において違算や忘れないと限り大きな差異が出ないと思われる。工事価格の見積は設計図書の精査や工事箇所踏査を十分行い、適正価格であることを望む。

## 新年度の主要工事

深層水取水施設建設  
 蓄養、養殖施設建設  
 東町住宅建替建設  
 特別養護老人ホーム建設  
 農業集落排水(新屋地区)

# 特集

## これだけは知っておきたい介護保険



Q 介護を受けたい時、どこへ、どのように申請すればよいのですか。

施設サービスの利用者負担(月額平均)

	特別養護老人ホーム	老人保健施設	療養型病床群など
平均的な費用	33万円	35万4000円	44万2000円
利用者負担	1割負担 食費 合計	2万7200円 約2万3000円 約5万円	3万7800円 約2万3000円 約6万円

※食費の利用者負担は、住民税世帯非課税者は1日500円、老齢福祉年金受給者などは1日300円に軽減。

要介護度の区分と費用、利用者負担(月額)

要介護度区分	身体の状態(おもなもの)	サービス費用の支給限度額(在宅の場合)	利用者負担(費用の1割)
要支援 (社会的支援を必要)	掃除など身の回りの動作で見守りや手助けを必要とし、立ち上がりの支えを必要とする。	6万1500円	6150円
要介護1 (部分介護)	歩行や両足で立っていられるために何らかの支えを必要とする。排せつや食事はほとんど自分一人で行える。	16万5800円	1万6580円
要介護2 (軽度)	排せつや食事に何らかの介助を必要とすることがあり、問題行動や理解の低下がみられる。	19万4800円	1万9480円
要介護3 (中等度)	身の回りの世話が自分一人で行えない。移動の動作が自分一人でできないことがあり、排せつが自分一人で行えない。	26万7500円	2万6750円
要介護4 (重度)	移動の動作が自分一人ではできず、排せつがほとんどできない。多くの問題行動や全般的な理解の低下がみられる。	30万6000円	3万6000円
要介護5 (最重度)	排せつや食事がほとんどできず、多くの問題行動や全般的な理解の低下がみられる。	35万8300円	3万5830円

◎ 費用は契約したサービス提供事業者へ支払う。

Q 介護を受けた場合、費用はどのようになるのですか。

### 反対

九里 郁子 議員

国と地方の借金残高は、2000年度末で64.5兆円にもなり、国民一人当たり510万円にもなる。入善町の町債残高は、一般会計で115億6500万円、当初予算を1億5000万円も上まわっている。交付税措置など財政の裏付けがあるといっても、国の財政が破綻しかねない状況にあり、「財政の裏付け」など、確かな保証はない。町債の借り換え、繰り上げ償還に努力されたい。町民は、消費税、米価の下落、貸し流りなど、国の悪政に押しつぶされそうになっている。その上、介護保険の負担である。町長交際費は500万円でも他町の300万円前後からみるとかなり高い。議長車543万円は、安い低公害車等に換えること。深層水による養殖事業は急ぐべきではない。今年度完成する畜養施設の深層水を、果水産試験場から運び、施設利用も半分だけという、非効率的な計画は理解に苦しむ。国民健康保険証のとりあげは一律に実施すべきでない。後継者育成など農業振興を図るため条例制定を提案する。

### 賛成

広瀬 喜代志 議員

本3月議会定例会に当たり、全議案に賛成の立場で若干の意見を述べる。1996億7044万円の子算総額となったが、税収をはじめ自主財源の厳しさがあり、大幅な基金繰り入れを余儀なくされた。その中で、住民に対する直接予算である教育、環境、福祉に総額88億8423万円、45%を充てたことは、住民への思いやりを感じる予算として努力の跡が見受けられる。町長交際費、納税前納税基金、勤労者厚生福利費などの削減は、当局の財政計画に取り組み姿勢が見られ評価する。引き続き英知を絞って健全財政の堅持を図りながら、住民ニーズの遂行に全精力を傾注されたい。愛する郷土入善町の将来像を構築するために均衡ある商工業の発展策、基幹産業の育成、夢の持てる事業の発掘をはじめ、新総合計画の策定に命をかけて取り組まれるよう強く要望する。

## 討論

# 各種団体からひとこと

ホームヘルプサービス  
「パートナー」

代表 渡辺菜美さん  
(上野)



私がこのグループを結成したのは、4年間のホームヘルパーの経験からでした。正規のヘルパーは時間や活動範囲、援助範囲が決められていて、なかなか自分の思い通りのサービスは受けられないのが実状です。「してあげたいけど、それはヘルパーの仕事ではない」の板挟みの日々でした。それなら希望を叶えてくれるサービスが他にあればいい。

ヘルパー（助ける人）ではなく、パートナー（分かち合う人）ならできると考えたのです。してあげているのではない、させてもらっている、それが私たちパートナーの姿勢です。

ボランティアといっても謝礼をいただいている以上、責任があります。依

頼があれば、サービス計画を立て、確実に提供できるように1人のお客様に3人のパートナーチームを作り、補い合いながらサービスにあたります。また、年間を通じて、広報誌の発行、介護実研修、サービス検討会などを開き、熱意と技術の維持に努めています。

活動内容の性格から、「助成金や補助があるでしょう」とよく聞かれますが、私が思いつくまま始めたグループなので一切頂いていません。ですが隣市の障害児の保護者の方から、市の助成金制度を利用して子守サービスを受けられないかとの声があります。利用される本人に、その利用料の一部を市が負担しようというものです。

# 傍聴席からひとこと



田中重雄さん  
(桐山)

静謐、厳正な雰囲気の中、町の心臓部である議会の傍聴は、昨年、町にとって痛恨の不祥事以来、私としては初めての機会であり、心して傍聴席へと足を運びました。町当局はもちろん、新しい顔ぶれも含まれた議員諸氏の真剣な姿勢を目前にして感動も、更なる精進をお願いしたいと思っております。「新年度予算の展望と重点施策、具体的取り組みを問う」「地方自治体の広域合併構想を問う」「深層水」について等が質疑応答に

関する内容であった。限られた持ち時間の中で、的を射たものを期待していただけに、いま一つ傍聴席に届きにくいといった感もあって、私自身の知識不足と関心のうすかったことを反省させられました。入善町の21世紀へ向けた施策については、公正・公平な態度は言うに及ばず、議員諸氏の真摯な審議をおして、町の発展におおいに手腕をふるっていただきたいと願っております。

入善町でもこういった形で援助していただければ、利用される方の負担が少なくて済み、喜ばれると思います。

2001年は国際ボランティア年、

入善に息吹いたこの住民参加の活動を温かく見守って頂きたい。いえ、見守るだけでなく、あなたも空いた時間を生かしてパートナーになりませんか。

「いつまでも我が家で暮らしたい」「こんなフレーズのピンクのチラシがポストに入っていたら、ごみ箱にポイする前に一度中を開いて見てください。私たちホームヘルプサービス「パートナー」は、平成10年4月に有志3人で結成した有償ボランティアグループです。発足当時は、ボランティアなのに有料という矛盾を感じる方も多く世間の風当たりが強かったのですが「サービスを受ければ何らかのお返しをしたい。その方が頼みやすい」と利用して下さる方が徐々に増えて月平均16人に、活動に協力してくれる会員も25人になりました。4月からは介護保険基準該当業者となり、介護認定を受けた方は、保険を効かせて私たちのホームヘルプサービスを受ける事ができるようになりました。

私たちのサービスはホームヘルプといってもお年寄りや障害者だけのヘルパーではありません。どの家庭にもあるちょっとした困りごとを引き受ける「何でも屋」です。家事や介護の他にも、子守や買い物代行、大掃除のお手伝いもします。今までで一番面白かったのが、犬の散歩。家族旅行が安心してできた大変喜ばれました。

# 編集の窓

◇5日発足した新内閣、景気最優先の政策要望が、数多く示された。我が町の3月議会も新年度に向けて、政策と予算は万全か。21世紀につながる新総合計画はいかに。等々白熱した舌戦が繰り広げられた。町民は新たな町の計画に希望と夢を託している。

◇青空のもと、ピカピカの一年生が誕生、嬉しさに胸ふくらみ、輝く瞳がまぶしい。皆で育てよう、健康な体と夢もてる地域づくりは未来の財産、12年度も心機一転、さあ頑張ろう。

## 議会広報編集特別委員会

- 委員長 本多 幸男
- 委員長 元島 正隆
- 委員 大橋美椰子
- 委員 谷口 一男
- 委員 谷 昌典
- 委員 九里 郁子